

## 実践事例—1

# 学校支援地域本部事業 「巨瀬学園支援ボランティア」の取り組み

## こせ 岡山県高梁市巨瀬公民館

所在地：〒716-1311 高梁市巨瀬町4864-1  
電話：0866-25-0001

### はじめに

岡山県高梁市は、県中西部に位置し、県下三大河川の1つ高梁川が市の中央を南北に流れる自然豊かな中山間都市です。現存天守をもつ唯一の山城「備中松山城」や往時の風情を色濃く残す城下町、国重要伝統的建造物群保存地区に選定された「銅とベンガラのまち吹屋地区」など名所・観光スポットも数多くあります。また県下最大の盆踊り「備中たかはし松山踊り」や国重要無形民俗文化財の「備中神楽」など、古来からの伝統を脈々と今に伝えています。

その高梁市の北東部に位置する巨瀬地域は、緑豊かな中山間地域で、人口は1,300名ほど、高齢化率は39%を超え、少子高齢化の傾向が色濃くなっています。

巨瀬公民館は、館長以下3名の職員が常駐し、公民館業務はもちろん、市民環境課が管轄する巨瀬地域市民センター、そして巨瀬地域まちづくり協議会の三足のわらじを履いており、多忙ながらも一元化のメリットを生かし「ナチュラルパークこせ」を合言葉に一体



校庭の草取りボランティア

的なまちづくりに取り組んでいます。

このような状況のなか、平成20年9月から、高梁市立巨瀬小学校（児童48名）及び巨

### たかはし 高梁市の概要

#### ①市町村名

岡山県高梁市  
面積：547.01 (km<sup>2</sup>)

#### ②人 □

平成21年4月  
現在の人口：35,164人  
65歳以上の人口：12,628人  
(35.9%)  
(世帯数：13,856)

#### ③産業別就業率

平成17年10月  
第1次産業：19.0%  
第2次産業：29.1%  
第3次産業：51.9%



遠足安全指導



祇園踊り指導



自然観察指導

瀬幼稚園（園児11名）を対象に学校支援地域本部事業「巨瀬学園支援ボランティア」をスタートさせました。

## 1 運営上の特色

巨瀬地域では、地域コーディネーターが活動するボランティア事務所を、学校内ではなく巨瀬公民館内に設置しています。

公民館は、地域コーディネーターだけでは構築できない地域ネットワーク（顔の広さ）やノウハウをすでに持っています。公民館と地域コーディネーターが協力し二人三脚で、

ボランティアの輪を広げながら事業に取り組んでいます。

地域コーディネーターは、元校長として学校現場に精通し、かつ前公民館長として地域も熟知している正に適任者です。

また、公民館内にボランティア事務所を設置した背景には、巨瀬小学校と巨瀬幼稚園が同敷地内にあり、それに隣接して巨瀬公民館が建っているという立地の良さがあります。

公民館を拠点とするため、ボランティアが終われば、公民館に戻り、学校に長居をせずに済みます。「学校の先生に気を遣わせない」

「余計な負担はかけない」ということが、巨瀬学園支援ボランティアの信条となっています。

巨瀬地域のボランティアは、ほとんどが高齢者です。児童・園児の親は仕事やPTA活動など忙しく、また昼間は仕事でほとんど地域にいません。ボランティアを通じて、昼間に地域にいる高齢者と子どもたちが顔見知りになることで、互いに声を掛け合い、気を配ることができる安心安全な地域社会の構築・地域の教育力の回復の一助となればと考えています。

ただ、自分の子どもが学校を卒業してしまうと学校と関わる機会は格段に減少します。高齢者ではなおさらで、ボランティアの気持ちはあっても、「学校に入っていくにくい」「自分で役に立つのだろうか」と、なかなか第一歩が踏み出せないという声も聞きます。

そこで、巨瀬地域では、「地域住民全員がボランティア」という考えのもと、「とにかく学校に行ってみよう」と地域住民に呼びかけています。ボランティア登録の手続き等にこだわらず、友だち同士で誘い合いながら気軽に参加してもらったり、毎回違う人を頼むよう心がけたりして、学校に普段来る機会の少ない住民（特に高齢者）ができるだけ多く学校とつながることができるように工夫しています。

参加した高齢者からは、「子どもたちとの交流が楽しみ」「子どもたちとの接点ができ、

学校外で出会っても声をかけてくれる」という感想が寄せられ、地域の活力になっているように感じています。

## 2 主な活動の状況や内容

学校の先生の負担を減らし、児童と向き合う時間を少しでも増やすという目的に向けて、草刈りなどの環境整備や安全パトロールなど学校運営にかかる側面的支援を中心に、できることから進めています。

授業中の学習アシストについては、できる教科・領域で少しずつ行っています。

### ①学校行事支援

運動会前の草取り・草刈り、テント張り・片付け、遠足の安全指導など

### ②環境整備支援

通学路・学校周辺の草刈り、花壇の整備、自作の竹ぼうき寄付、門松の設置・管理

### ③安全指導支援

登下校時の安全パトロールや安全マップ作成指導など

### ④学習活動支援

自然観察指導や農作業体験、絵画・習字の指導、地域の歴史学習など

### ⑤伝統文化指導

篠笛の指導、祇園踊りの指導、コトコト馬（豊作祈願のわら細工）やお飾りづくり、昔遊び交流会など



お飾りづくり



コトコト馬づくり

## おわりに

小規模校においては、児童数の減少、それにもともなう教員数の減少によって厳しい学校運営を強いられる現状があります。学校にとって、ボランティアによる側面的支援は、先生方の負担を減らし、地域住民との人間関係づくりが促進されるという利点があります。また、地域の大人との交流は、子どもたちにも良い影響を与えています。

巨瀬学園支援ボランティアのスタンスは、あくまで学校の要望がきっかけの意で決してボランティアからの押し付けはしないこと、いくら学校の要望でもできないときはできないと言い決して無理をしないこと、ボランティアは「してあげる」という意識でなく、自分自身の心を豊かにしてくれる活動であるという認識で取り組むことです。

学校支援ボランティアの取り組みは、公民館での学びの成果、人と人のつながりを生かせる活動であり、地域の宝である子どもた

ち、そして地域のシンボルである学校を核として、地域住民の連帯感の醸成、生きがいつくりや地域の活性化へとつながっていくことが期待されます。

スタートから1年半あまり、以前は「学校支援ボランティア」と聞くと違和感を感じて構えてしまう住民の方がほとんどでしたが、この事業を通じて、最近では学校と地域住民の距離が格段に近づいていると公民館館長も手応えを感じています。

この学校支援ボランティアの取り組みが一時的なものに終わらないよう、公民館が地域コーディネーターを強力にバックアップして、学校と地域・公民館の良い関係づくりを行い、地域に根ざした息の長い仕組みづくりをめざして取り組んでいきます。



(高梁市教育委員会社会教育課  
生涯学習係主事 石田 雄一)

# 実践事例—2

## 富谷町地域と学校をつなぐ取組

—公民館が地域と学校の協働を推進

宮城県黒川郡富谷町教育委員会

所在地：〒981-3311 黒川郡富谷町富谷字坂松田30  
電話：022-358-0521

### 1 富谷町の公民館の概要

富谷町は宮城県内のほぼ中央に位置し、仙台市北部に隣接する自然にも都心へのアクセスにも恵まれたまちです。「奥州街道の宿場町」としての歴史的な姿を残す地域と豊かな自然を大切にしながら、これまで多くのニュータウンが開発され、昭和38年4月、人口5,000人余りでの町制施行から、平成22年3月に4万7,000人を超えるまでに成長を遂げています。

富谷町教育委員会では「学びのまち富谷」をスローガンに、小中学校に学校図書館指導員と特別支援教育支援員の設置、公民館に社会教育指導員と図書指導員の設置、とみや子どもまつりの開催、とみや豊壽大学の開講など、学校教育や生涯学習施策を積極的に展開しています。そして、地区ごと（それぞれの中学校区とつながる）に6つの公民館があり、上記の取り組みを生かしながらライフステージやジャンルに対応し、町民の交流も含めた幅広い生涯学習プログラムを展開しています。

### 2 富谷町地域と学校をつなぐ取組 (学校支援地域本部事業)

#### (1) 地域と学校をつなぐ公民館（事業の概要）

平成20年度より「地域と共に育つ学校」をめざして、より確かな地域と学校の連携実現



学校支援地域本部の体制

のため、町全体で「富谷町地域と学校をつなぐ取組」がスタートしました。

くろかわ とみや まち  
黒川郡富谷町の概要

- ①市町村名：宮城県黒川郡富谷町
- ②面積：49.13 (km<sup>2</sup>)
- ③人口：47,308人  
65歳以上の人口：6,167 (13.0%)  
(世帯数：15,949)  
(平成22年5月15日現在)
- ④産業別就業率  
平成17年10月  
第1次産業：1.5%  
第2次産業：22.4%  
第3次産業：76.1%
- ⑤公民館数：6館  
(富谷中央公民館・富ヶ丘公民館・東向陽台公民館・あけの平公民館・日吉台公民館・成田公民館)

公民館が学校支援地域本部として地域と学校との協働の推進役となり、各地区で掲げたテーマに沿って地域と学校、公民館で子どもを育てています。

各地区の学校支援地域本部は、地域教育協議会（計画や運営等について協議する）、地域コーディネーター（公民館に窓口を置き、地域と学校の連絡調整を行う）、学校支援ボランティア（学校支援を行うボランティア）で構成され、地域コーディネーターは、公民館社会教育指導員と地域を熟知している住民代表の2人体制で効果的な支援を行っています。

本事業の期待される効果としては、次の3つが挙げられます。

#### ①学校教育活動のさらなる充実

地域の包容力に支えられたさまざまな体験・経験により、子どもの豊かな学びが実現。

#### ②生涯学習社会の広がり

地域住民が自らの知識・経験を子どもたちの教育に生かすこと。

#### ③地域住民同士のきずなを深める

学校と公民館が地域住民と協働することで、かかわる一人ひとりが生きる幸せを実感し、笑顔が輝く地域となること。

## (2) 実践事例

### ①富谷中央公民館の事例

（テーマ：「富谷の伝承文化を大切にしよう」）

【富谷中学校「富谷茶づくり」 平成21年6月7日（日）】

富谷中学校の生徒が富谷茶づくりの体験学習を行いました。富谷茶は、江戸時代の奥道中歌に「国分の町よりここへ七北田よ、富谷茶のんで味は吉岡」と詠まれるほどの銘茶として知られ、富谷中学校校章のデザインにも取り入れられています。富谷茶の伝統を受け継ぐという目的のもと、学校支援ボランティアの支援で茶摘み、製茶の活動が進められま



茶摘み



製茶

した。今回の学校支援ボランティアは、公民館で郷土史等を研究しているサークルに所属している方に、ご本人も含め「富谷茶づくり」のできる方を紹介していただきました。体験した生徒は、「お茶づくりはたいへん」「手づくりのお茶はとてもおいしい」と感想を述べていました。

### ②東向陽台公民館の事例

（テーマ：「本に親しもう」）

【東向陽台公民館・東向陽台小学校「読み聞かせボランティア支援」 平成21年7月～平成22年3月】

「東向陽台公民館での読み聞かせボランティア養成講座 平成21年7月」

子どもの豊かな読書活動をサポートするた

めに、読み聞かせ会を実施する人材の増員と技能の向上をめざして、4回の講座が開催されました。

〔講座内容〕

〈第1回〉読み聞かせの方法と実際

〈第2回〉絵本の楽しみ方・選び方

〈第3回〉わらべうた・手遊び、おはなし会のプログラム作成

〈第4回〉「おはなし会」開催：聞き手 東向陽台児童クラブ

「東向陽台小学校での読み聞かせ 平成21年8月～3月」

上記講座受講者が、新たな読み聞かせボランティア団体を立ち上げ、2つの団体が小学校での読み聞かせを行いました。

〔児童の感想から〕

・わたしは、あまり民話に興味がありませんでした。けれど、民話の読み聞かせでちょっと民話が好きになりました。読み聞かせ、ありがとうございました。



読み聞かせボランティア養成講座



読み聞かせ

・ほくは、世界の民話を聞いて、「おもしろいなあ」「こんな話もあるんだなあ」と思いました。すてきな民話ありがとうございました。

### ③成田公民館の事例

(テーマ：「音楽で心を重ねよう」)

【成田公民館「キッズ応援隊のつどい(学校支援ボランティア研修会)」 平成22年1月27日(水)】

これから学校支援ボランティアとして活動したいと考えている方々を対象に、本事業の説明や学校の様子を理解していただくために平成21年7月の開催を計画しましたが、参加者が思うように集まりませんでした。そこで、学校支援の取り組みが進んだ翌年1月に、学校支援の取り組みについての紹介を載せた「キッズ応援隊のつどい」開催のチラシ



「キッズ応援隊のつどい」チラシ



箏の演奏

を作成し、その月の公民館だよりと一緒に成田地区全戸に配付し宣伝を行いました。その結果、当日はすでに学校支援ボランティアとして活躍している方も含め、25名の参加者が集まり、講演の後には熱心な意見交換が行われました。

【成田東小学校・成田小学校「音楽科 和楽器・洋楽器 鑑賞」平成22年2月～3月】  
「日本の音楽を味わおう～<sup>こと</sup>箏の演奏～平成22年2月」

6年生に、日本楽器の響きや旋律の特徴を生かした音楽の美しさを味わってもらうため、学校支援ボランティアの演奏を聴くとともに箏を演奏する体験を行いました。

今回の学校支援ボランティアは、前述「キッズ応援隊」に登録しており、前年に成田公民館放課後子ども教室で箏の演奏をお願いしてからのつながりで、学校の支援依頼に応えることができました。

「洋楽器の演奏体験（バイオリンとピアノのコラボ）平成22年2月」

2年生と5年生に、洋楽器の響きや旋律の特徴を生かした音楽の美しさを味わってもらうため、学校支援ボランティアの演奏を聴くとともにバイオリンを演奏する体験を行いました。

こちらの学校支援ボランティアも「キッズ



バイオリンの演奏体験

応援隊」に登録しており、地域コーディネーターがピアノを演奏してのコラボレーションとなりました。

### 3 各地区地域教育協議会の役割

各地区学校支援地域本部には地域教育協議会が設置され、地域と学校の協働教育計画及び運営等についての協議が進められています。各地区のテーマをふまえた協働教育年間計画を地域コーディネーターと社会教育連携担当教員（校務分掌として）が中心になって作成し、年度初めの地域教育協議会で提案し、実践へとつなげています。学校と地域が子どもの豊かな学びをつくり出すために協議することが、学校の在り方、地域の在り方を考える機会づくりにつながっています。



地域教育協議会

### おわりに

本事業3年目も、地域と学校、それをつなぐ公民館のネットワークをより強化し、地域と学校、そして何より子どもたちがその効果を実感できる協働の実践を進めていきます。笑顔輝くあたたかい学校、地域、富谷づくりをめざして……。

（宮城県黒川郡富谷町教育委員会  
生涯学習課社会教育主事 遠藤 安孝）

